ＣＴ、腎盂造影等の造影検査時の注意事項

腎機能低下患者にたいする造影剤使用におけるガイドラインが策定され、当院もそれに準拠することになりました。つきましてはヨード造影剤を使用する造影検査は以下の制限事項の中でお受けしたいと思います。

造影検査依頼には実施前 3 カ月以内の血清クレアチニン測定が必要です。

これを基にした**推定ＧＦＲ（eＧＦＲ）が 45ml/min/1.73 ㎡**以上の患者さんは従来通り実施します。それよりも eGFR が低い場合は輸液等の処置が必要なため、現状では予約による造影検査をお受けできませんので、当該科へ紹介してください。
（クレアチニン値からの換算表は男性用と女性用がありますのでご注意をお願いします）

予約日が 6 月 1 日以降の造影検査依頼は、3 カ月以内の血清クレアチニン値からの換算によって得られた eGFR 値を採血日とともに診療情報提供書に記載してください。記載されていない造影依頼に関しましてはお受けできません。

CT・尿路造影用造影剤

【禁忌(次の患者に投与しないこと)】

①ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者。

②重篤な甲状腺疾患のある患者。[…症状が悪化するおそれがある]

【原則禁忌(投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)】

①一般状態の極度に悪い患者。

②気管支喘息の患者。[副作用の発現頻度が高いとの報告がある]

③重篤な心障害のある患者。[…症状が悪化するおそれがある]

④重篤な肝障害のある患者。[症状が悪化するおそれがある]

⑤重篤な腎障害のある患者。[…急性腎不全等、症状が悪化することがある]

⑥急性膵炎の患者。[症状が悪化するおそれがある]

⑦マクログロブリン血症の患者。

⑧多発性骨髄腫の患者。[特に脱水症状のある場合、腎不全(無尿等)等を起こすおそれがある]

⑨テタニーのある患者。[血中カルシウム低下により、症状が悪化するおそれがある]

⑩褐色細胞腫およびその疑いのある患者。[…発作が起こるおそれがある…]

【慎重投与】

①本人または両親、兄弟に発疹、蕁麻疹等のアレルギーを起こし易い体質を有する患者。

②薬物過敏症の既往歴のある患者。

③脱水症状のある患者。※糖尿病の患者は脱水になり易いので注意してください。

④高血圧症の患者、動脈硬化のある患者、糖尿病の患者、等。

【併用注意:ビグアナイド系糖尿病用剤】

類薬で尿酸アシドーシスを起こしたとの報告があるので、異常が認められた場合にはビグアナイド系糖尿病用剤の減量もしくは投与を中止する等適切な処置を行うこと…。

【その他の注意】

やむを得ず授乳婦に投与の後は一時的に授乳を避けるよう指導すること。

【重要な副作用】

①ショック、アナフィラキシー様症状(0.1%未満)

②悪心・嘔吐(0.1～1%)

③発疹・蕁麻疹(0.6%)

④遅発性副作用(3.7%)

⑤腎不全(頻度不明)

⑥その他(多岐にわたる)

MRI用造影剤（通常の造影MRIで使用）

【禁忌（次の患者に投与しないこと）】

本剤や類薬の投与により重篤な副作用のみられた患者。

【原則禁忌（投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）】

① 一般状態の極度に悪い患者。

② 気管支喘息の患者。［気管支喘息のない患者よりもショック、アナフィラキシー様症状等の発現頻度が高い］

③ 重篤な肝障害のある患者。［肝機能に影響を及ぼすおそれがある］

④ 重篤な腎障害のある患者。［…急性腎不全等、症状が悪化することがある］

【慎重投与】

① アレルギー性鼻炎、発疹、蕁麻疹等を起こしやすいアレルギー体質を有する患者。

② 両親・兄弟にアレルギー体質を有する患者。

③ 薬物過敏症の既往歴のある患者。

④ 既往歴を含めて、痙攣、てんかんおよびその素質のある患者、等。

【併用注意】

【その他の注意】

やむを得ず授乳婦に投与の後は一時的に授乳を避けるよう指導すること。

【重要な副作用】

① ショック、アナフィラキシー様症状（0.1%未満）

② 悪心・嘔吐（0.1～５%）

③ 発疹・蕁麻疹（0.1～５%）

④ その他（熱感等、多岐にわたる）

MRI用消化管造影剤:(MR胆管膵管撮影(MRCP)で使用)

【禁忌(次の患者に投与しないこと)】

① ヘモクロマトーシスなど鉄過剰症の治療を受けている患者。[症状が増悪するおそれがある]

② 鉄剤に過敏症を有する患者。

【原則禁忌(投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)】

【慎重投与】

消化性潰瘍、潰瘍性大腸炎、限局性腸炎等の胃腸管疾患を有する患者。[鉄が大量に吸収されるおそれがある]

【併用注意】

【その他の注意】

① 妊娠中、授乳中の婦人に関する安全性は確立していない。

② 本剤の投与により一過性に歯や舌が着色したり、便が黒色を呈することがある。

③ 本剤の投与により潜血反応で偽陽性となることがある。

【重要な副作用】

① 発疹・蕁麻疹等の過敏症(0.1%未満)

② 嘔気・嘔吐、下痢等の消化器症状(0.5%未満)

MRI用肝臓造影剤：リゾビスト（静注）…肝腫瘍患者のみ使用

※予約時に「リゾビスト」と明記が必要です。

【禁忌（次の患者に投与しないこと）】

① 本剤の成分または鉄注射剤に対し過敏症の既往歴のある患者。
② 一般状態の極度に悪い患者。
③ ヘモクロマトーシス等鉄過剰症の患者。［本剤の鉄により症状が悪化するおそれがある］
④ 出血している患者。［出血症状を悪化させるおそれがある］

【原則禁忌（投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）】

【慎重投与】

① 本人または両親、兄弟にアレルギー体質を有する患者。
② 薬物過敏症の既往歴のある患者。
③ 貧血治療のため鉄剤を投与している患者。［鉄過剰症をおこすおそれがある］
④ 出血傾向のある患者。（抗血小板剤、血液凝固阻止剤等を投与中の患者を含む）［出血傾向を増強するおそれがある］
⑤ 発作性夜間血色素尿症の患者。［溶血を誘発させるおそれがある］

【併用注意】

【その他の注意】

① 妊婦またはその可能性のある婦人、授乳婦および小児への使用経験はない。
② 活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）を一過性に延長させることがある。また、血清鉄および不飽和鉄結合能（UIBC）の検査値に投与後数日まで、血清フェリチンの検査値には投与後３週間以上影響を及ぼすことがある。

【重要な副作用】

① アナフィラキシー様症状（頻度不明）
② ショック（類薬）
③ 遅発性副作用（頻度不明）
④ 鼻出血（0.4%）
⑤ その他（腰背部痛、熱感等、多岐にわたる）

ビグアナイド系製剤とヨード造影剤の併用注意のお知らせ

ビグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ錠」「ジベトス錠」等は、**ヨード造影剤使用前後２日間は中止**して頂きますようお願いいたします。

※ただし、腎機能が低下している患者様につきましては、腎機能に問題がない事を確認してから再開してください。

＊併用注意＊

【ヨード造影剤】
- イオジキサノール（ビジパーク）
- イオパミドール（オイパロミン）
- イオヘキソール（オムニパーク）
- イオプロミド（イオプロミド）
- イオメプロール（イオメロン）等

【ビグアナイド系経口血糖降下剤】
- ブホルミン塩酸塩
  （ジベトス、ジベトン S）
- メトホルミン塩酸塩
  （グリコラン、ネルビス、メデット、メトグルコ、メトホルミン、メトリオン）
- ピオグリダゾン/メトホルミン配合剤
  （メタクト配合錠）

【臨床症状・措置方法】
併用により乳酸アシドーシスを起こすことがある。
ヨード造影剤を用いて検査を行う場合は、本剤の投与を一時的に中止すること。

【機序・危険因子】
腎機能が低下し、本剤の排泄が低下することが考えられている。